

本日、麗澤瑞浪中学・高等学校の入学式を挙行いたしましたところ、ご来賓の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。また、保護者の皆様、ご家族の皆様におかれましては、本校の教育にご理解とご信頼をいただき、大切なお子様をお預けいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

中学生六十四名、高校生百五十七名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、そして在校生一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。これから三年間、あるいは六年間、どうぞよろしく申し上げます。

本校には、全国から、そして世界から、さまざまな背景や価値観を持つ仲間が集まっています。今年度は、台湾やモンゴルからの新入生に加え、海外での生活を経験してきた生徒も新たに入学してくれました。異なる文化の中で培ってきた視点や経験が、この学校に新しい風をもたらしてくれることを大変心強く感じています。また、新しい環境に一步踏み出したその姿勢に、心から敬意を表したいと思います。異なる文化や考え方を持つ仲間と日々を共にすることは、自分の当たり前を見つめ直し、視野を広げる貴重な機会です。違いに触れる中でこそ、新しい気づきや学びが生まれます。寮生活を含めたこの環境では、自分の思い通りにいかないことや、他者との違いに戸惑うこともあるでしょう。しかし、そうした経験の中でこそ、人は他者を理解し、自分自身を深く知り、思いやりの心が育まれるのです。

ここで皆さんに、これからの学校生活で大切にしてほしいことを一つお伝えします。それは、「自己ベストを更新し続けること」です。私たちはつい、他人と比べてしまいます。社会に出れば競争もあり、自分の立ち位置や進む方向が見えてくることもあります。しかし、その結果によって自分の価値を決める必要はありません。大切なのは、昨日の自分よりも今日の自分が少しでも前に進んでいるかどうかです。思うようにいかないときも、自分なりに考え、挑戦し続けてください。その積み重ねが、確かな成長につながっていきます。この学校での学びや生活を通して、皆さん一人ひとりが、自分自身の「自己ベスト」を更新し続けていくことを願っています。どうか、他人との比較ではなく、自分との約束を大切にしてください。

さらに、本校では今年度より、アントレプレナーシップコースを新設しました。単に起業を目指すということではなく、自ら課題を見つけ、自ら考え、周囲と協働しながら新しい価値を生み出していく力を育てる学びです。正解のない問いに向き合い、試行錯誤を重ねながら一步を踏み出す経験は、これからの社会を生きる上で大きな力になります。失敗を恐れず、挑戦を重ねてください。その一つひとつの挑戦が、皆さん自身の可能性を広げ、「自己ベストの更新」へとつながっていきます。

また、若いうちから社会や世界に目を向けることも大切です。さまざまな文化や価値観に触れることは、自分の可能性を広げるきっかけとなります。中学・高校の時期に、視野を広く持ち、物事を少し高い視点から考えることを意識してください。本校では海外で学ぶ機会も用意しています。ぜひ積極的に活用し、

自分の世界を広げてほしいと思います。

本校の「麗澤」という言葉は、中国の古典『易経』に由来し、並び合う沢が互いに潤し合うように、よき先生や友人と共に学び合い、人格を高めていくことを意味しています。これから皆さんが会う仲間や先生方との関わりの中で、互いに支え合い、高め合っていく時間が始まります。これからの学校生活には、悩んだり立ち止まったりすることもあるでしょう。しかし、そのときには仲間や先輩、先生、そしてご家族がいます。失敗しても構いません。大切なのは、そこから立ち上がり、再び一步を踏み出すことです。

本校では、「師弟同学」の心を大切にしております。教職員は、一方的に教える存在ではなく、生徒と共に学び、共に成長していく存在でありたいと考えております。また、「親子共学」の考えのもと、保護者の皆様にも、お子様の成長を見守るだけでなく、ともに学び続ける存在であっていただきたいと願っております。学校と家庭が同じ方向を向き、子どもたちの成長を支えていくことで、より豊かな学びが実現できると信じております。

それでは、新入生の皆さんが、誇りある麗澤瑞浪の生徒として、それぞれの未来に向かって力強く歩み出されることを願い、式辞といたします。

本日は、ご入学、誠におめでとうございます。

令和八年四月七日 麗澤瑞浪中学・高等学校校長 藤田知則